

瀬田川プランクトン調査結果速報

～第34報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
環境監視部門 生物圏係
平成28年11月21日

1. 最も数が多かった種類(優占種)

植物プランクトン第1優占種



Mougeotia sp.
(ヒザオリ)
緑藻綱

板状の葉緑体を持つ細長い細胞が糸状に連なった群体を形成している。通常は細胞分裂によって増殖するが、有性生殖では、2本の糸状体が膝を折るような形で接合して接合胞子を形成する。

動物プランクトン第1優占種



Codonella cratera
(スナカラムシ)
繊毛虫類

壺のような固い殻を持ち、その殻は砂粒を含む。色は黒色で、前が開いていて、その後ろにくびれがある。殻の中に無色透明の繊毛虫が入っている。

コメント

植物プランクトンでは、緑藻に属するヒザオリ (*Mougeotia* sp.) が先週に引き続き優占種となった。体積で見ても、緑藻に属するヒザオリ (*Mougeotia* sp.) が優占種となった。綱別の体積では、緑藻類が総体積の約52%、黄色鞭毛藻が約38%を占めた。動物プランクトンでは、繊毛虫のなかまのスナカラムシ (*Codonella cratera*) が400個体/Lで優占種となった。ピコ植物プランクトンは、16,000細胞/mLで、そのうち輝橙色のものが82%、深赤色のものが18%であった。

2. 見つかった主なプランクトンとその数(個体数)

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/L)
繊毛虫類	<i>Codonella cratera</i>	400

第 2 優 占 種		個体数 (個体/L)
ワムシ類	<i>Synchaeta oblonga</i>	120

* 個体数については、プランクトンネットNXXX25(目合い41μm)で採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
環境監視部門 生物圏係

(2) 植物プランクトン

平成28年11月21日

第34報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)		
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	60		
(黄鞭) <i>Dinobryon divergens</i>	400		
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	400		○
(黄鞭) <i>Mallomonas fastigata</i>	20		
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	26		
(珪) <i>Aulacoseira distans</i>	20		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	80		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	460	○	
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	40		
(珪) <i>Synedra acus</i>	3		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i>	40		
(珪) <i>Nitzschia holsatica</i>	160		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	80		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	160		
(緑) <i>Micractinium pusillum</i>	16		
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	1040	◎	◎
(緑) <i>Micrasterias hardyi</i>	3		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	3		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	880	28.8	38.1
(珪) 珪藻綱	869	28.5	7.2
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	240	7.9	2.9
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1062	34.8	51.8
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細胞 数	3051	総体積 (μm^3)	5.56E+06
種 類 数	20		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/mL)
ただし*印の種は群体数(群体/mL)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。



ピコ植物プランクトン
1,000倍G励起で撮影

(3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	11月21日 細胞数/mL
藍藻類 <i>Synechococcus</i> sp.	16,000

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2~2 μm (1 μm は1mmの1,000分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。G励起(緑色光照射)で輝橙色に輝く種類と深赤色に見える種類があります。